

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
1 安心・安全を魅力とするまちづくり （25分） 「安心・安全」を魅力として、まちづくりを進める自治体は日本全国に多くあります。例えば、東京都杉並区では、「安全パトロール隊」活動や防災訓練を活発に実施したり、約2,000基の防犯カメラを設置したりしています。また、兵庫県伊丹市も、1,200台の安全・安心見守りカメラや、こどもや認知症高齢者用にビーコン発信器を採用することで安心・安全ネットワークの効果が表れています。神戸市では、阪神・淡路大震災以降、地域防災訓練の定期的な実施に加え、市民防災総合センターを開設し、市民向けの啓発イベントを積極的に継続しています。 本市でも「安心・安全のまちづくり」に力を入れ、防災・防犯、地域コミュニティの活性化、こどもや高齢者の支援など積極的に行い、「住みやすいまち」を目指し、行政と地域住民が協力しながら実現に向けて努力しています。 政府の地震調査委員会は、2025年1月15日に南海トラフ巨大地震の今後30年以内の発生確率を「70～80%」から「80%程度」に引き上げました。また、街頭での凶悪事件の報道が繰り返される昨今、市民は、防災、防犯両面でさらなる安心・安全のまちづくりを期待しています。本市の、安心・安全のまちづくりの取組が本市の魅力として市の発展に寄与することを期待して、以下質問致します。 (1) 安心・安全のまちづくりに関する基本的な考え方、計画について (2) 安心・安全のまちづくりに関する行政の役割と取組・成果について (3) 安心・安全のまちづくりに関する地域、学校、関連団体、企業等の役割と取組・成果について (4) 安心・安全のまちづくりに関する市民の役割と取組・成果について	市 長 教育委員会教育長
2 豊かな自然を魅力とするまちづくり （20分） 鶴ヶ島市の環境を保全する条例では、「緑の保全及び緑化の推進」、第3期鶴ヶ島市環境基本計画では、「樹林地や水辺、湧水を	市 長 教育委員会教育長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
保全し、市民の憩いの場及び環境学習の場を確保します」とあります。 また、第6次鶴ヶ島市総合計画基本構想では、市の特性として、「身近な自然と調和した地の利があるまち」、「鶴ヶ島市には、南西部地域を中心に農地や樹林地、水辺などの武蔵野の原風景が残されています。市域が小さく、こうした自然環境と市街地が隔たることがなく、自然と共存した市街地が広がっています。」「これからも“自然との調和”を大切にするまちであり続けます。」「とあります。本市に移り住んできた多くの市民は、そのような自然と利便性の調和を魅力に感じていると思われます。また、第6次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画（令和7年度～令和11年度）施策32の公園の整備と緑化の推進は、主な取組の3に「市内に残る貴重な樹林地や屋敷林を保全する」とあります。 一方、去年は高倉うきうき市民の森の一部を始め、貴重な武蔵野の樹林地が喪失しています。長期的な視点で貴重な自然を保全することは、市民や子どもたちが身近で生物多様性の環境学習の機会を得ることに繋がります。また、この貴重な自然を本市の魅力として維持し、発信することも重要だと考えます。以下質問致します。 （1） 貴重な樹林地、屋敷林、市民の森を守るための考え方と長期的な計画と達成度について （2） 市民の森の面積の推移について （3） 市民の森の地権者の意向調査の状況について （4） 市民の森での環境学習の意義とその実施状況について （5） 市民の森の保全の今後の方針について	
3 鶴ヶ島の誇りを市の魅力としてアピールすることについて（15分） 2024年12月15日、滋賀県で開催された全国中学校駅伝大会。鶴ヶ島市立藤中学校は、初出場ながら堂々の優勝を果たし、埼玉県勢21年ぶりの優勝という快挙を成し遂げました。埼玉県、そして本市に大きな感動と興奮をもたらしました。この歴史的な勝利は、選手たちのたゆまぬ努力と、地域全体の熱い声援によって支えられた結果と言えるでしょう。 また、伊藤有紗さんは武蔵野美術大学の卒業制作として、本市の	市長 教育委員会教育長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
変遷をまとめた絵本「つるがしま物語」を制作されました。本市の魅力を繙くこの絵本は、新聞等報道でも高く評価され、本市に寄贈もされました。現在では図書館などで閲覧できるようになっています。この絵本は、本市の旧石器時代から現代までの歴史を、伊藤さんの視点で描き出した作品です。「つるがしま物語」が注目される要因は、地元の若者による地域への深い愛情が感じられる作品であること、古代から現代までの長い歴史を、わかりやすく、そして魅力的に描き、絵本の絵や文章が美しく、芸術作品として高い評価を得ています。 このように、広く高く評価される鶴ヶ島に関する誇るべき事柄の取り扱いを適切に行うことは、市民の本市に対する愛着度の向上、本市の知名度、魅力度の向上に大変有効であると思います。以下質問致します。 (1) 鶴ヶ島の誇るべき事柄の広報活動に関する方針と手法について (2) 本件についての市内外への発信について (3) 本件についての教育現場での取り扱いについて	